

あおはる日記

町内の中学校の部活を紹介します



全日本ソフトテニスU14と同じトレーニングも難くこなす、東郷中学校男子ソフトテニス部(3年生19人、2年生17人、1年生16人の総勢52人)を取材しました。

東郷中学校 男子ソフトテニス部

- 顧問 宮川雄太先生 柴田雅代先生
- キャプテン 櫻谷祐太さん
- 副キャプテン 平岡隆之さん



顧問の宮川先生と学校敷地内北東の高台にあるテニスコートに入った途端、部員らは一斉に練習を止め、こちらに注目し、大きな声であいさつをしてくれました。部員らに「しっかりとあいさつができて素晴らしいね」と話をすると、「あいさつは、一般常識ですから」と立派な回答が返ってきました。

ソフトテニスは、下半身の筋力がとても重要というところで、宮川先生は練習メニューに、全日本ソフトテニスU14の合宿でも行われている「ランジ」「ツイスト」というトレーニングを取り入れています。これは、下半身のさまざまな筋肉にかなり負荷をかける練習です。とてもきついフットワーク練習ですが、つらそうな表情も見せず、普段のトレーニングメニューの一つとして、淡々とこなす部員の姿が印象的でした。

東中ソフトテニス部顧問、男女通算9年目、熱心な指導で部員からの信頼も厚い宮川先生は、「この地区はレベルが高く、予選でも入賞するのは容易なことではありません。それでも、何とか部員らに好成績を残させてあげたいという思いがあります。ただ、それ以上に、自分で選んだソフトテニス部での活動に全力で取り組み、部員全員が最後までやり遂

げることに、これが一番の願いです」と部員らへの熱い思いを語ってくれました。最後に、キャプテンの櫻谷さんは、「過度に緊張しない」「明るさ」と「団結力」がチームの強みです。試合中でも、先生や仲間からの熱い声援で、みんな集中力が高まります。3年間、一緒に頑張ってきた仲間や後輩、チーム全員が一丸となって、支所大会に臨みます」と意気込みを話してくれました。

支所大会(団体戦)では、先輩の代から守り抜いてきたシード権があるため、2回戦からの出場となります。まずは準決勝進出を目指し、全力で他校のライバルとぶつかり合い、後輩に『タスキ』をつないでくれることでしょうか。

支所大会(団体戦)では、先輩の代から守り抜いてきたシード権があるため、2回戦からの出場となります。まずは準決勝進出を目指し、全力で他校のライバルとぶつかり合い、後輩に『タスキ』をつないでくれることでしょうか。

支所大会(団体戦)では、先輩の代から守り抜いてきたシード権があるため、2回戦からの出場となります。まずは準決勝進出を目指し、全力で他校のライバルとぶつかり合い、後輩に『タスキ』をつないでくれることでしょうか。



東郷町公式 LINE

東郷町公式 Twitter

東郷町公式 Instagram

Catalog Pocket 10言語対応配信中

iphone用 android用

シティプロモーション動画「ちょうど級タウン東郷町」

ちょうど級タウン TOGO TOWN 東郷町